

The background features a light gray geometric design. A large, light gray triangle is oriented with its base at the bottom and its apex at the top. Overlaid on this are several thin, light gray lines: a vertical line on the left, a diagonal line from the top-left to the bottom-right, and a horizontal line across the middle. A large, rounded, light gray shape, resembling a stylized 'P' or a bracket, is positioned in the center-right. Five clusters of gray dots of varying sizes are scattered across the page: one in the top-right corner, one in the middle-left, one in the center, one in the bottom-left, and one in the bottom-right.

**PIMCO**



—“—

「PIMCOでは社員一人ひとりがお客様に最良のソリューションをご提供するべく、日々業務に取り組んでいます。私たちは決して現状に満足しません。変化の激しい市場の中で、来るべき課題に対して、新たな可能性を見出さねばなりません。」

— エマニュエル・ローマン 最高経営責任者 (CEO)

—”—

PIMCOグループの概要.....	4-7
変化と革新の歴史 .....	8-9
PIMCOを支える多様な視点と、実証されてきた独自の運用プロセス .....	10-13
高い専門性を生かし、幅広い投資機会を見出す .....	14-15
日本と世界をつなぐ、ピムコジャパン .....	16-19
社会によい変化をもたらす.....	20-21
PIMCOグループの代表的な受賞歴.....	22-23



# 公募、私募の両市場において 高い専門性を有する 債券アクティブ運用のグローバルリーダー、 PIMCO



PIMCO（パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー）は、1971年に米国カリフォルニア州ニューポートビーチで設立され、50年以上にわたって複雑なグローバル債券の市場に挑み続けてきました。この分野の最前線で培った深い専門知識により、私たちは公募・私募の広範な市場において、相対的な価値を見極める独自の視点を築いています。いまでは債券のアクティブ運用のグローバルリーダーとして、投資機会を見つけるだけでなく、投資機会を創りだすことを目指しています。アクティブ運用の担い手として、私たちの使命は単に投資機会を「見つける」ことにとどまらず、それを「創り出す」ことにあります。膨大なデータと高度な分析力、そして統合されたグローバル投資プラットフォームを駆使し、確信を持って投資を行っています。

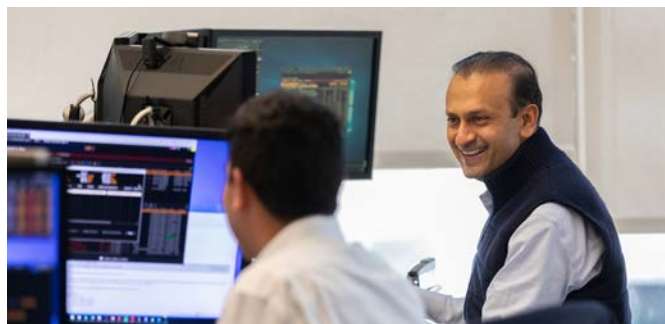
私たちは一つのチームとして、どのような市場環境においても、投資家の皆様に最善の成果をお届けすることを使命とし、その実現に向けて取り組んでいます。



( )内は各拠点の開設年。

# 世界中の英知を結集し、 お客様のために最善を尽くします

PIMCOはお客様とのパートナーシップがもっとも重要だと考えています。  
私たちが運用する全てのポートフォリオは、PIMCOの社員が持つスキルと経験に支えられています。  
なかでも、世界各地の拠点に在籍する960名以上の投資プロフェッショナルたちは、  
ファイナンスから政治学、物理学に至る様々な分野の経歴を有しています。



特に記載のないものは2025年6月末時点。

\*2024年12月末時点。

\*\*2025年6月末時点、1米ドル＝144.445円で換算。第三者からの委託による1.70兆ドルを含め、2.11兆ドルを運用しています。  
PIMCO PRIME REAL ESTATE (旧アリアンツ・リアルエステート) の運用資産775億ドル(2025年3月31日現在)が含まれます。

\*\*\*役職員数は、PIMCO PRIME REAL ESTATEを含みません。



350<sup>+</sup>名

PIMCO在籍期間が10年を超える  
投資プロフェッショナル数\*



24<sup>カ所</sup>

米国や欧州、アジアに広がる  
グローバル拠点数



75<sup>+</sup>名

ポートフォリオ分析チーム\*



85<sup>+</sup>名

クレジット・アナリスト数\*



270<sup>+</sup>名

平均17年の投資経験を有する  
ポートフォリオ・マネージャー数



# PIMCOは変化し続ける世界で、 投資機会の発掘に努めてきました

日々変化し続ける世界の中では、周到な準備があつてこそ良い成果が出せると、PIMCOは信じています。徹底した調査と分析により、変化する世界のリスクと投資機会を継続的に評価し、進化するお客様のニーズにお応えする最良なソリューションの構築を目指しています。

私たちは投資パフォーマンスの達成にとどまらず、投資に関する様々な知見の提供や、運用に必要なツールやリソースへの投資を通じて、お客様の投資目標の達成を支援しています。

## 【世界の動き】

ハイパーインフレと  
急騰する金利

冷戦終結による  
グローバル化の幕開けと  
S&P 500先物指数の導入

グローバル債券市場の  
大きな発展と米国物価  
連動債(TIPS)の初入札

1970年代  
(1億8,500万ドル)

1980年代  
(101億ドル)

1990年代  
(843億ドル)

## 【PIMCOの歩み】

- 債券投資の新境地、**トータル・リターン戦略**の運用開始

- 短期・長期経済予測会議  
(フォーラム)を開始
- 画期的な**ポータブル・アルファ**  
戦略を開発

- **グローバル債券・エマージング  
債券**戦略の運用開始
- 初の**インフレ・ヘッジ**専用の  
ポートフォリオを開始
- 東京に**事務所を開設** (1997年)

2024年12月末時点。

各年代の下に記載している ( ) 内の数字は、当該年代におけるPIMCOの運用資産総額の平均を示しています。



世界金融危機の  
影響により、割安な  
投資機会が拡大

米連邦準備理事会  
(FRB)の政策により  
歴史的な低金利水準へ

世界的な  
パンデミックによる  
経済・市場の急変動

2000年代  
(5,301億ドル)

2010年代  
(1兆3,000億ドル)

2020年代  
(1兆9,500億ドル)

- ヘッジ・ファンド、クオンツ、オルタナティブ・クレジット、不動産などのオルタナティブ投資を開始
- 業界の先駆けとなる、クライアント・ソリューションズ&アナリティックス・チームを創設
- 東京で債券運用を開始—日本債券コアプラス戦略運用開始 (2002年)
- 年金基金を含む機関投資家向けにオルタナティブ運用商品の提供を開始 (2005年)

- アクティブETFとインターバル・ファンドをいち早く導入
- アセット・ベースド・ファイナンスの知見を活かし、プライベート・クレジット戦略を拡充
- AIを活用し、ビックデータから意思決定に役立つインサイトの抽出を開始
- 日本の投資家向けにインカム戦略の提供を開始 (2014年)

- アリiances・リアルエステートを傘下に収め、世界最大級の不動産プラットフォームとなる
- 行動ファイナンスの知見を運用プロセスに体系的に組み込む

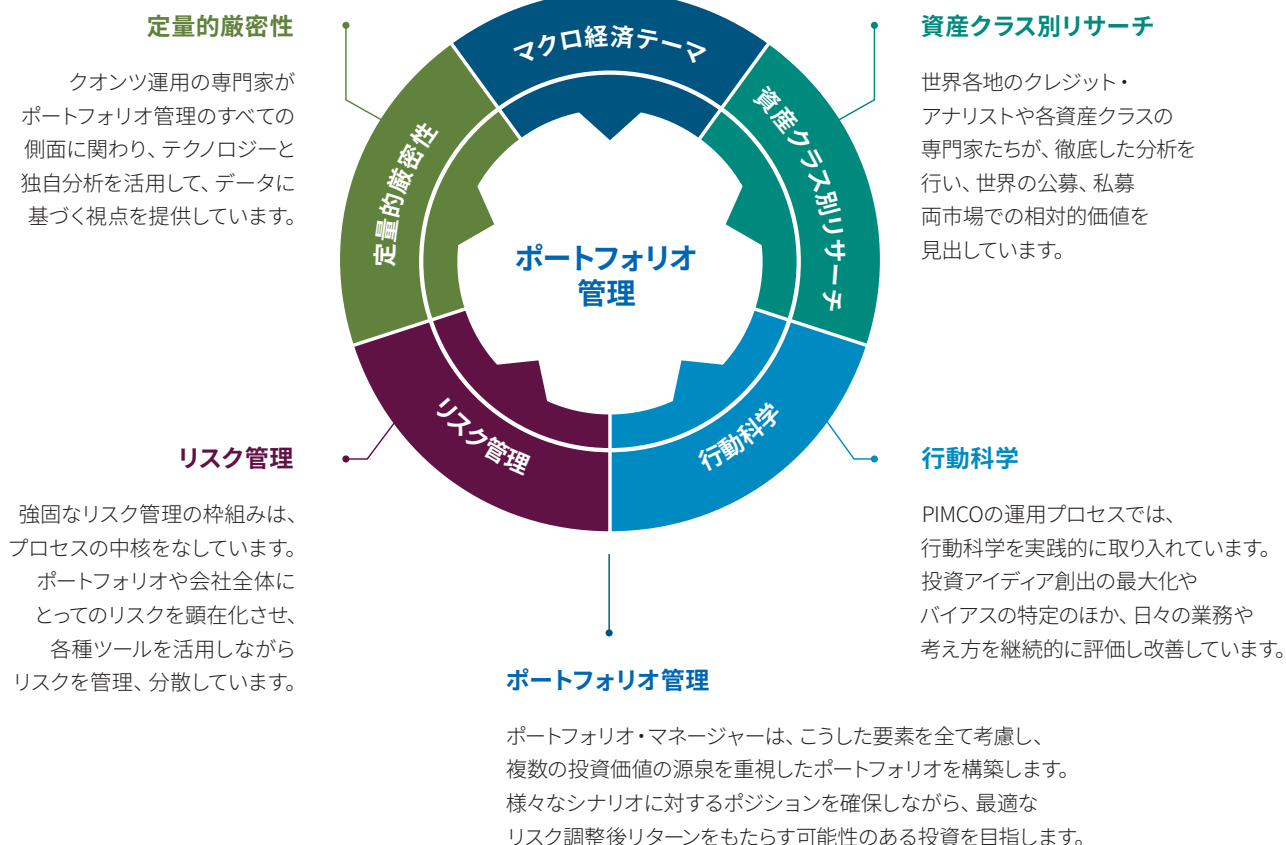
# PIMCOを支える多様な視点と、 実証されてきた独自の運用プロセス

PIMCOの運用プロセスは、50年以上にわたり複雑な債券市場を乗り越えてきた経験を生かして作られ、多くのお客様にご信頼いただいています。五つの柱に支えられたPIMCOの運用プロセスは、世界各国のチームから投資のベストアイデアを結集し、ポートフォリオ・マネージャーへリスクや投資機会に関する情報を多角的に提供できるよう設計されています。

## PIMCOの運用プロセス

### マクロ経済テーマ

年1回開催される長期経済予測会議（セキュラー・フォーラム）では、長期的な投資テーマについて議論します。  
短期経済予測会議（シクリカル・フォーラム）は年3回開催され、長期的な投資テーマを足元の市場や経済状況を鑑み、より短期的な見通しに反映します。



\*上記はイメージ図



フォーラム開催中の写真

## PIMCOの運用実績を支える深い洞察力と長年の経験

PIMCOではチームで投資判断をしています。グループCIOのダニエル・アイバシンが率いる運用体制のもと、アイバシンと4名のCIOそれぞれが個別の資産クラスや戦略を担当、統括しています。



**DANIEL J. IVASCYN**

(ダニエル・J・アイバシン)  
グループ最高投資責任者  
(グループ CIO)



**ANDREW BALLS**

(アンドリュー・ボールズ)  
グローバル債券担当  
最高投資責任者(CIO)



**MOHIT MITTAL**

(モヒト・ミッタル)  
コア戦略担当  
最高投資責任者(CIO)



**MARC P. SEIDNER, CFA**

(マーク・P・サイドナー、CFA)

非伝統的戦略担当  
最高投資責任者(CIO)



**QI WANG**

(チー・ワン)

ポートフォリオ執行担当  
最高投資責任者(CIO)

# 外部から新鮮な視点を取り入れる

PIMCOの運用プロセスでは、新しい考え方や異なる視点を積極的にとり入れています。その一環として外部から専門家を招聘し、彼らの知見を共有してもらうことで、PIMCO自身の見解や判断を多角的に検証しています。これらの専門家には、グローバル・アドバイザー・ボード (GAB) のメンバーをはじめ、外部アドバイザーやフォーラムの講演者などが含まれており、ノーベル賞受賞者、中央銀行の政策担当者、そしてビジネス界や学术界など多様な分野の第一人者が名を連ねています。



## 研究機関とのパートナーシップ

2018年、PIMCOは投資に潜在的に重要な意味があるとする領域に関する研究をサポートするパートナーシップ契約を締結しました。

### PIMCO意思決定調査研究所

PIMCOは長年にわたり、多様な視点を醸成し、自分たちの考え方に疑問を呈することがより良い投資結果につながると考えています。シカゴ大学ブース・スクール・オブ・ビジネスのRoman Family 意思決定研究センター (CDR) との長きにわたる協力的なパートナーシップを通じて、PIMCO意思決定調査研究所を進化させ、「マインドワークス (Mindworks)」と呼ばれる意思決定調査研究・発見センターをシカゴの中心部に2021年に開設しています。





## グローバル・アドバイザリー・ボード (GAB)



年に数回会合を開き、経済予測会議(フォーラム)への貢献に加え、各分野における専門的な知見を、継続的にインベストメント・コミッティーに提供しています。

### ゴードン・ブラウン博士

グローバル・アドバイザリー・ボード議長  
英国元首相および英国元財務大臣

### ジャネット・イエレン氏

米元財務長官  
FRB(米連邦準備制度理事会)元議長

### ジョシュア・ボルテン氏

米ビジネスラウンドテーブル社CEO/社長  
元米国大統領首席補佐官

### ミシェル・フロノイ氏

米新アメリカ安全保障センター(CNAS)共同設立者  
元米国政策担当国防次官

### ラグラム・ラジャン氏

インド準備銀行元総裁  
国際通貨基金チーフ・エコノミスト

(写真左から)

## 外部アドバイザー



定期的に外部から高い専門性を有するアドバイザーを招聘し、金融市場に重要な影響を及ぼす分野に関する知見を取り入れています。

### ジーン・スパーリング氏

コンサルタント  
バイデン前大統領の米国救済計画法に関するアドバイザー  
クリントン・オバマ両政権の元経済委員会委員長

### リチャード・セイラー氏

リタイアメント・行動経済学シニア・アドバイザー  
シカゴ大学ブース・スクール・オブ・ビジネス チャールズ・R.ウォールグリーン行動科学および経済学特別功労教授  
2017年ノーベル経済学賞受賞

## セキュラー・フォーラムにおける外部講演者

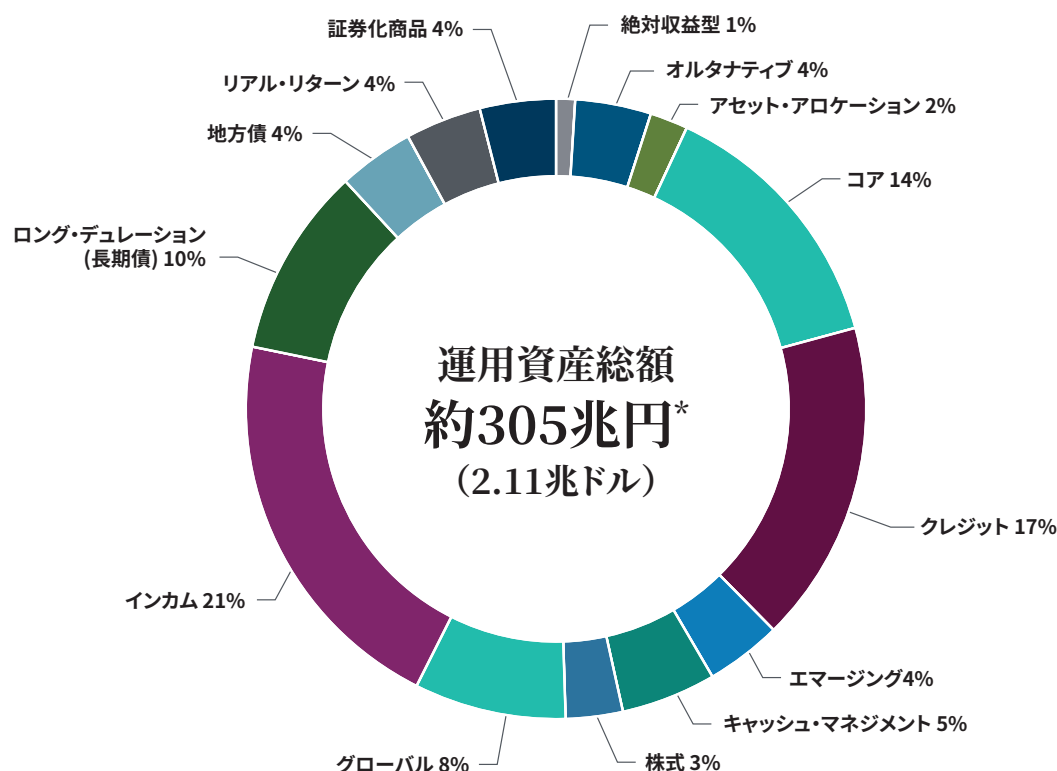


経済、金融、歴史、政治などの各分野から外部講演者を招き、活発な議論を行います。1980年にセキュラー・フォーラムを開始して以来、延べ150名以上におよぶ外部講演者の知見を投資に活用してきました。

2015年	ジャンクロード・トリシェ氏	欧州中央銀行元総裁
2016年	マービン・キング氏	イングランド銀行元総裁
2017年	ターリ・シャーロット氏	神経科学者、ロンドン大学 アフェクティブ・ブレイン研究所所長
2018年	スタンレー・フィッシャー氏	FRB(米連邦準備制度理事会)元副議長
2019年	ジャネット・イエレン氏	FRB(米連邦準備制度理事会)元議長
2020年	マーク・カーニー博士	国連気候変動対策・ファイナンス担当元特使 現カナダ首相
2021年	カルフ・リー氏	コンピューター科学者、起業家、投資家
2022年	ネハ・ナルラ氏	MITデジタル通貨イニシアチブ・ディレクター
2023年	ティム・アダムス氏	国際金融協会理事兼CEO
2024年	ケビン・ハセツト氏	フーバー研究所経済学のプレント・R・ ニクラス特別研究員 米大統領経済諮問委員会元委員長

# 公募、私募の両市場における高い専門性を生かし、幅広い投資機会を見出す

PIMCOは、世界中の中央銀行、政府系ファンド、年金基金、事業会社、財団、基金、個人のお客様からお預かりした資産を運用しています。その運用規模や、公募、私募の両市場における高い専門性を生かした商品プラットフォームを構築し、様々な投資機会を見出しています。



\*2025年6月末時点、1米ドル＝144.445円で換算。第三者からの委託による1.70兆ドルを含みます。PIMCO PRIME REAL ESTATE (旧アリアンツ・リアルエステート) の運用資産775億ドル (2025年3月末時点) が含まれます。同社はPIMCOおよびPIMCO ヨーロッパ GMBH (PIMCO PRIME REAL ESTATE GMBH、PIMCO PRIME REAL ESTATE LLCおよびその子会社、関連会社を含む) の関係会社であり100%子会社です。PIMCO PRIME REAL ESTATE LLCの投資プロフェッショナルは、PIMCO LLCとの兼任で、投資運用およびその他のサービスを提供しています。戦略別内訳は第三者からの受託資産ベースです。2025年6月末時点の情報は、新しいデータソースと分類体系を活用しています。その結果、戦略カテゴリーの更新に伴い、運用資産総額に変動が生じている可能性があります。

## 日本債券

日本債券運用にとって、日本経済に大きな影響を与える世界の経済、市場に関する知見は非常に重要です。PIMCOのグローバルな知見とリソースが、グローバル市場との比較での日本債券の相対的な投資価値の発見、投資アイディアの創出に生かされています。またリスク管理、運用においても全社統一のシステム、プロセスが活用されています。

### 外部機関からも認められた実績：日本債券運用に関する受賞歴

#### PIMCO日本債券コア戦略

R&Iファンド大賞(確定給付年金(伝統資産)/国内債券部門) 受賞(2023-2025年)  
マーサーMPAアワード(Japan) 2013 国内債券総合部門(3年) 受賞(2013年)

#### 日本債券コアプラス戦略

マーサーMPAアワード(Japan) 2011 国内債券総合部門(3年) 受賞(2011年)  
アジア・インベスター誌 最優秀実績賞(運用期間1年)(2004年)  
アジア・インベスター誌 最優秀実績賞(運用期間3年)(2008年)

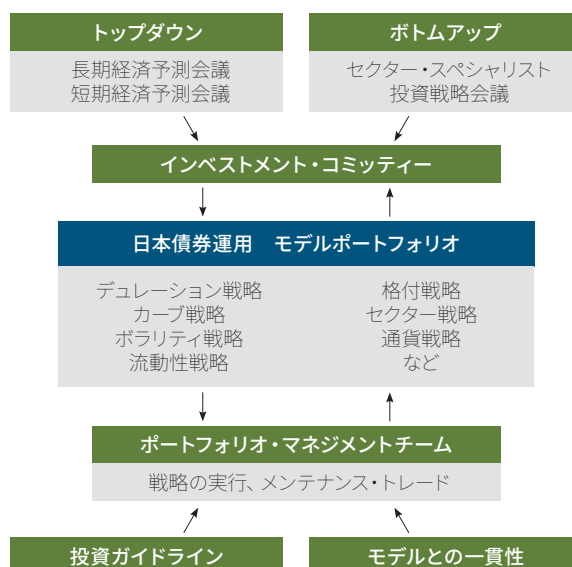
#### 日本債券運用チーム

アジア・インベスター誌 運用実績賞(2010年、2011年、2013年、2014年)

#### ピムコ変動利付日本国債ファンドクラスα

リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2012 債券型日本円部門(3年) 受賞

### PIMCOのグローバルなリソースが支える日本債券運用



## オルタナティブ投資

50年以上にわたる債券アクティブ運用で培われたマクロ経済分析やリサーチ力を基盤とした投資プロセス及びプラットフォームは、複雑なオルタナティブ投資においても生かされています。過去20年以上にわたりグローバル・マクロ戦略やリスク・プレミアム戦略に代表されるヘッジファンドを運用し、オルタナティブ・クレジット及びプライベート投資戦略についても15年以上の運用実績を誇ります。2020年には、世界的な商業不動産投資企業のアライアンス・リアルエステート(現PIMCO PRIME REAL ESTATE)を傘下に収めました。これによりコア、コアプラス、バリュー・アッド、オポチュニスティック戦略などの不動産資産を抱える、世界最大級で最も幅広く分散された商業不動産のプラットフォームのもとでの運用が可能になりました。現在では、130名以上のオルタナティブ戦略専任のポートフォリオ・マネージャーが、世界各地の投資プロフェッショナルと共に、1,910億ドル(約28兆円\*)超のオルタナティブ資産を運用しています。

ヘッジファンドおよびクオンツ (2004年より運用)  
290億ドル (約4兆円\*)

裁量型ヘッジファンド  
クオンツ

プライベート・クレジット (2007年より運用)  
1,620億ドル (約24兆円\*)

アセット・ベースド・  
ファイナンス  
不動産ローン

企業クレジット  
マルチ・アセット・  
クレジット

\*2024年12月末時点、1米ドル=140.980円で換算。

# 日本と世界をつなぐ、ピムコジャパン

世界の債券アクティブ運用をリードする運用会社としてのPIMCOの投資経験と、専門知識を日本の機関投資家・個人のお客様へお届けするため、1997年、ピムコジャパンリミテッド (ピムコジャパン) は設立されました。



ピムコジャパンは、1997年の設立以来25年以上にわたって日本のお客様の資産運用ニーズに向き合い、債券のアクティブ運用に強みを持つ運用会社だからこそ可能な投資機会の開発と、運用サービスのご提供に努めてまいりました。

刻々と変化するマーケットと共に、お客様のニーズも刻々と変化しています。私たちの使命は、こうしたお客様の資産運用のニーズに耳をかたむけ、新たな投資機会を創造・発掘し、お客様の目標達成の成功をサポートすることです。

PIMCO設立以来の強みである債券投資の分野での未来を広げると同時に、オルタナティブ投資の分野でも豊富な経験とグローバルなリソースを最大限に生かし、日本のお客様に新たな投資機会を幅広く提供してまいります。

## 正直 知哉

マネージング・ディレクター  
共同代表者 兼 アジア  
太平洋共同運用統括責任者

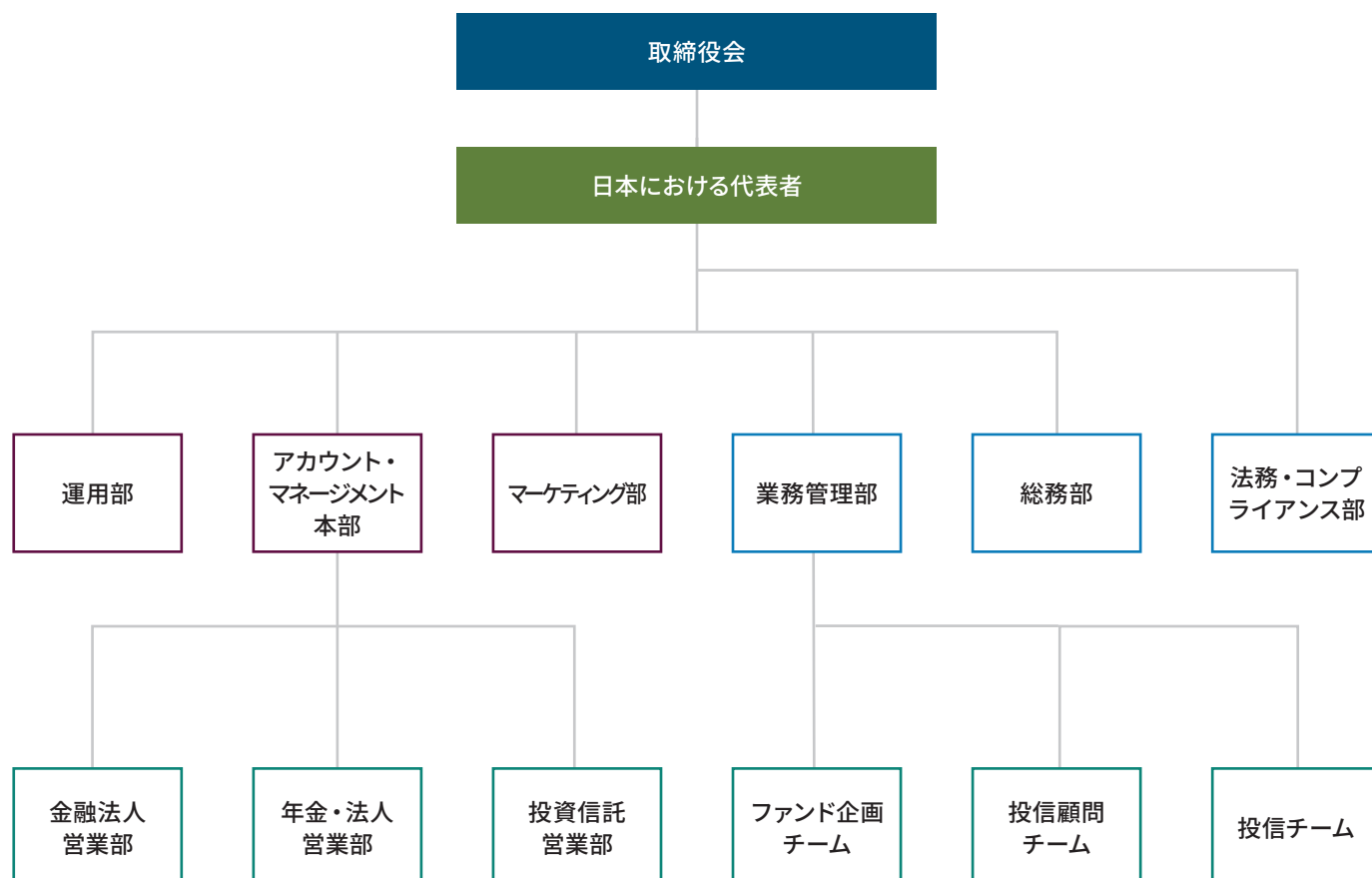
## ベンジャミン・ ファーガソン

マネージング・ディレクター  
共同代表者  
クライアント及び  
ビジネスマネジメント



\*日本オフィスが入居する  
虎ノ門ヒルズステーションタワー

## ピムコジャパンリミテッド組織図



# 資産運用業界の 「Thought Leader (ソート・リーダー)」を 自負するPIMCOは、 独自の見解を 様々な形で皆様 お届けしています

## セミナー・イベント

PIMCOの経済見通しをお伝えするセミナーや、業界動向を踏まえた幅広いトピックについてのセミナーを、オンライン形式も含め定期的に行っています。

## セミナー・イベント



## 市場関連コンテンツ

### 市場関連コンテンツ

運用のお役に立つ各種情報を定期的にレポート、ビデオなど様々な形式でウェブサイトに掲載しています。

#### 長期・短期経済展望レポート(年4回)

年4回開催される経済予測会議での議論をうけて作成される、PIMCOが考える長期(年1回)または短期(年3回)の経済展望をまとめたレポートです。

#### インベストメント・コミッティー(IC)の見解

経済展望を受けたPIMCOの運用戦略の指針に対する見方をご紹介します。

#### PIMCOの視点

PIMCOのソートリーダーとしての市場、戦略に関する知見、最新情報をご紹介します。

#### オルタナティブ市場の展望

オルタナティブ市場についての動向やPIMCOが考える投資機会などをご紹介します。

#### 不動産市場の展望

不動産市場についての動向やPIMCOが考える投資機会などをご紹介します。

## 投資の基礎

### 投資の基礎

PIMCOが長年培ってきた知見や独自の視点を生かし、債券投資に関する初級から中級までの実用的な内容をウェブサイトや冊子の形でお届けしています。

#### 債券の基礎

債券価格と金利の関係性、インフレーションと投資への影響、物価連動債といった債券投資の基礎知識をはじめ、オルタナティブ投資など、幅広いトピックを中級者向けにご紹介しています。

#### X公式アカウント

経済展望をはじめ市場関連コンテンツ発行のお知らせや、債券の基礎知識等を発信しています。ぜひフォローください。

@PIMCO\_Japan

### PIMCOレポート配信登録サービスのご案内

ご登録いただいた方には、ご希望のカテゴリーに関する新しいコンテンツが発行された際、いち早くメールにてお知らせしています。レポート配信は以下のURL、またはQRコードからご登録いただけます。

<https://subscriptions.pimco.com/ja-jp>



# 社会によい変化をもたらす

PIMCOは、私たちが働き、生活する地域社会に対して変化を起こすための活動に取り組んでいます。それは投資先からのリターンを最大限求めることだけではなく、社員一人ひとりが社会的責任を果たすことを意味します。

## PIMCOの存在意義 (PURPOSE AT PIMCO)

PIMCOは、社会に意義のある変化をもたらすことが、私たちに与えられた機会であると同時に果たすべき責務であると考えています。創意工夫を凝らし、協力しながら、緊急性の高いグローバル課題の解決に取り組んでいます。



**慈善活動：**PIMCO基金は、世界各地で緊急性の高い現場への支援や、革新的なプロジェクトの推進を通して高い成果を上げている非営利団体へ、資金援助を行っています。



**地域社会への取り組み：**社員の時間やスキル、専門性を生かし、地域社会およびグローバルに意義のある変化をもたらすための活動を行っています。

## 代表的なプログラム



### グローバル・ボランティア月間

社員が地域社会およびグローバルな課題に取り組む機会として、毎年夏に150以上のボランティアイベントを企画・実施しています。



### Feed Our Cities (地域社会に食料を)

困窮している人々に食料を届けるため、社員が食品梱包作業を行ったり、そのために必要な資金を募る活動を行っています。



### 専門知識を活かした慈善活動

年間を通じて社員が地域の非営利団体と連携し、特定の社会課題に取り組みながら、リーダーシップを身につけるプログラムです。さらに、「非営利団体への理事派遣プログラム」を通じて理事として活動する社員を対象としたトレーニングも実施しています。



PIMCOは、2025年もボランティア活動専門の世界最大非政府組織であるPoints of Lightが米国で最も地域社会志向が強い企業を表彰する「The Civic 50」を受賞しました。同賞の受賞は計9回目となり、13年の歴史の中で継続受賞している数少ない企業の一社です。



# PIMCOグループの代表的な受賞歴

## 米国モーニングスター社 年間最優秀債券マネージャー賞

2013年	2015年	2020年	2021年
インカム戦略 ダン・アイバシム、 アルフレッド・ムラタ	ショート・ターム戦略 ジェローム・シュナイダー、 チーム	インベスティング・エクセレンス ライジング・タレント モヒト・ミッタル	インベスティング・エクセレンス ライジング・タレント ソナリ・ピエル

## モーニングスター社 各国における受賞\*

オーストリア、ドイツ、 スペイン、ルクセンブルク	オーストラリア	シンガポール	香港	欧州
2015年 年間最優秀 資産運用会社賞、 大規模債券部門	2015年 - 2017年 年間最優秀 マネージャー賞、 債券部門	2015年 年間最優秀 資産運用会社賞、 債券部門	2015年、2017年 年間最優秀 資産運用会社賞、 債券部門	2020年 インベスティング・エクセレンス ライジング・タレント ロレンツォ・パガーニ

## マーサー・ジャパン社 マーサーMPA (JAPAN) アワード\*\*

2007年、2008年、 2010年 - 2017年、2019年 外国債券 (5年)	2011年、2013年 国内債券 (3年) 2011年は特別賞
--	---------------------------------------

## R&Iファンド大賞\*\*\*

2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
確定給付年金 (DB) 外国債券エマージング部門 エマージング債券戦略	確定給付年金 (DB) 外国債券エマージング部門 エマージング債券戦略	確定給付年金 (DB) 国内債券部門 日本債券コア戦略	確定給付年金 (DB) 国内債券部門 日本債券コア戦略	確定給付年金 (DB) 国内債券部門 日本債券コア戦略 外国債券部門 外国債券戦略 外国債券エマージング部門 エマージング債券戦略

## PERE (PRIVATE EQUITY REAL ESTATE)\*\*\*\*

2024年	2025年
PERE Awards 2023 最優秀デット運用会社	PERE Awards 2024 欧州最優秀オルタナティブ・インベスター PERE Credit Awards 2024 最優秀大口クレジットレンダー (1億ドル超)





## ピムコジャパンリミテッド会社概要

会社名	ピムコジャパンリミテッド	役職員数	80名 (非常勤取締役2名を含む)
日本における代表者	マネージング・ディレクター 共同代表者 兼 アジア太平洋共同運用統括責任者  正直 知哉 マネージング・ディレクター 共同代表者 クライアント及びビジネスマネジメント ベンジャミン・ファーガソン	主要業務	1. 投資運用業 2. 投資助言・代理業 3. 第二種金融商品取引業
住所	〒105-5519 東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズ ステーションタワー19階	登録番号	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第382号
電話番号	03-4567-3500 (代表)	加入協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会 一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
設立年月日	1997年12月16日	受託資産残高	PIMCOグループの日本における受託資産残高 13兆8,175億円  うち 国内年金 3兆180億円 金融機関/その他法人 7兆9,506億円 投資信託商品 2兆8,489億円
資本金	13,411,674.44米ドル		
株主	ピムコ・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー 100%		

2025年6月末時点。

当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。受賞は一部を掲載したものです。個別の商品への言及は当該商品の推奨や勧誘を意図するものではありません。

The Morningstar Fixed Income Fund Manager of the Year award is based on the strength of the manager, performance, strategy and firm's stewardship. This information is provided for information purposes only, to demonstrate manager capabilities. It is neither an offer to sell nor a solicitation of an offer to buy interest/share in the U.S. fund. The U.S. fund is not registered or available for sale outside of the U.S. This information should not be considered as investment advice or a recommendation of any particular security, strategy or investment product. Morningstar Awards 2025. © Morningstar, Inc. All Rights Reserved.

Morningstar Rising Talent Award. Morningstar presents the Rising Talent Award to an up-and-coming manager in Morningstar's coverage universe. The manager must have less than seven years' tenure managing portfolios and yet has delivered exceptional results to investors over that span of time. Morningstar's manager research analysts conduct in-depth qualitative analyses in order to select nominees and, subsequently, vote to determine the award winner. To qualify for the award, the manager's strategy must earn a Morningstar Analyst Rating of Gold, Silver or Bronze, for at least one vehicle and/or share class, or be featured in Morningstar Prospects, a publication highlighting investments that Morningstar analysts are following closely but have not yet received full coverage.

\* The Morningstar Australian Fund Manager of the Year Award identifies and recognizes the Australia-domiciled fund manager which, in Morningstar's opinion, has demonstrated funds management excellence across multiple asset classes in the year for which the award has been made. Morningstar Best Fund House is a quantitatively driven award that recognizes fund management companies that have delivered sustained outperformance on a risk-adjusted basis across their fund line-ups. Morningstar Awards 2025 © Morningstar, Inc. All Rights Reserved.

\*\*詳細については、マーサー・ジャパンのホームページをご覧ください。(www.mercer.co.jp)

\*\*\*「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

\*\*\*\*いずれも賞は前年の実績を評価。PERE誌 (PRIVATE EQUITY REAL ESTATE) およびPEREクレジット誌 (PRIVATE EQUITY REAL ESTATE CREDIT) は、主に (1) 業界関係者からの意見聴取 (毎年実施) および (2) 同社のカバレッジならびに情報ソースとの意見交換に基づく編集チームの専門知識という2点から最終選考リストを作成。その上で、業界の同業者からの投票数により受賞者を決定。PIMCOは受賞および使用に関して対価を提供していません。

当資料は、一般的な情報提供を目的にビムコジャパンリミテッド(以下、「弊社」)が作成したものです。投資助言や特定の有価証券、戦略、もしくは金融商品の売買の勧誘や推奨を目的とするものではありません。

記載された情報は充分信頼できるものであると考えておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。意見や見通しはあくまで作成日における弊社の判断に基づくものであり、今後予告なしに変更されることがあります。運用状況、市場動向、コメント等は、過去の一時点あるいは過去の一定期間についてのものであり、過去の実績は将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。また記載された投資戦略等は全ての投資家の皆様に適合するとは限りません。当資料は法律、税務、会計面での助言の提供を意図するものではありません。

運用を行う資産の評価額は、組入有価証券等の価格、デリバティブ取引等の価値、金融市場の相場や金利等の変動、及び組入有価証券の発行体の財務状況や信用力等の影響を受けて変動します。また、外貨建資産に投資する場合は為替変動による影響も受けます。したがって投資元本や一定の運用成果が保証されているものではなく、損失をこうむることがあります。運用によって生じた損益は、全て投資家の皆様に帰属します。弊社が行う金融商品取引業に関してお客様にご負担頂く手数料等には、弊社に対する報酬及び有価証券等の売買手数料や保管費用等の諸費用がありますが、それらの報酬及び諸費用の種類ごと及び合計の金額・上限額・計算方法は、投資戦略や運用の状況、期間、残高等により異なるため表示することができません。

当資料及び記載されている情報に関する権利は弊社に帰属します。したがって、弊社の書面による同意なくしてその全部もしくは一部を複製またはその他の方法で配布することはご遠慮ください。

PIMCOは、アリアンツ・アセット・マネジメント・オブ・アメリカ・エルエルシーの米国およびその他の国における商標です。

別途記載のない限り、本資料の内容は2025年6月末時点のものです。

(注) PIMCOはパシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーを意味し、その関係会社を含むグループ総称として用いられることがあります。

#### ビムコジャパンリミテッド

〒105-5519 東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズ ステーションタワー 19階 03-4567-3500(代表)

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商) 第382号

加入協会: 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会